

## ①東北大学

- 申込方法／FAXまたはメールに講座名、氏名、住所、電話番号を記入して開催日の1週間前までにお申込みください。
- 申 込 先／東北大学 教育・学生支援部 教務課教育支援係  
〒980-8576 仙台市青葉区川内41  
TEL: 022-795-4933 FAX: 022-795-7555  
E-mail: gsc-sc@grp.tohoku.ac.jp

## ②仙台白百合女子大学

- 申込方法／はがき、FAXまたはEメールに講座名、氏名、郵便番号、住所、電話番号を記入の上、開催日の1週間前までにお申込ください。
- 申 込 先／仙台白百合女子大学 図書館・地域貢献研究センター  
〒981-3107 仙台市泉区本田町6-1  
TEL: 022-374-5090 FAX: 022-374-4577  
E-mail: library@sendai-shirayuri.ac.jp

## ③宮城大学

- 申込方法／FAXまたはEメールに講座名、氏名、住所、電話番号を記入して開催日の3日前までにお申し込みください。
- 申 込 先／宮城大学 サテライトキャンパス  
〒980-6002 仙台市青葉区中央4-6-1 SS30ビル2階  
TEL: 022-716-6692 FAX: 022-716-6693  
E-mail: renkei-kouza@myu.ac.jp

## ④東北文化学園大学

- 申込方法／FAXまたはEメールに講座名、氏名、住所、電話番号を記入の上、開催日の1週間前までにお申込ください。
- 申 込 先／東北文化学園大学 地域連携センター  
〒981-8551 仙台市青葉区国見6丁目45-1  
TEL: 022-233-3451 FAX: 022-233-6298  
E-mail: liaison@office.tbgu.ac.jp

## ⑤東北学院大学

- 申込方法／FAXまたはEメールに講座名、氏名、住所、電話番号を記入して開催日の1週間前までにお申込みください。
- 申 込 先／東北学院大学 研究機関事務課  
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1  
TEL: 022-264-6406 FAX: 022-264-6530  
E-mail: k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

### 【サテライトキャンパス会場】



- 仙台市民活動サポートセンター  
地階市民活動シアター／6階セミナーホール  
仙台市青葉区一番町4-1-3 (市営地下鉄 広瀬通駅 西5番出口前)
- 東北工業大学一番町ロビー 2階ホール  
仙台市青葉区一番町1-3-1 TMビル (市営地下鉄 青葉通一番町駅 南1番出口)

### 学都仙台コンソーシアム事務局

TEL: 022-263-8851 FAX: 022-263-8852

※会場には駐車場はございません。  
お出掛けの際は、バス・地下鉄などの公共交通機関をご利用ください。



### 学都仙台コンソーシアム

加盟団体

石巻専修大学・尚絅学院大学・聖和学園短期大学・仙台白百合女子大学・仙台青葉学院短期大学・仙台大学・東北学院大学・東北芸術工科大学・東北工業大学・東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部・東北大学・東北福祉大学・東北文化学園大学・東北医科薬科大学・放送大学宮城学習センター・宮城学院女子大学・宮城教育大学・宮城誠真短期大学・宮城大学・仙台高等専門学校・公益財団法人仙台観光国際協会・仙台商工会議所・一般財団法人東北多文化アカデミー・一般社団法人みやぎ工業会・国立研究開発法人理化学研究所・宮城県・仙台市

### お問い合わせ先

学都仙台コンソーシアム  
サテライトキャンパス部会事務局  
(宮城教育大学)

仙台市青葉区荒巻字青葉149  
TEL: 022-214-3640  
FAX: 022-214-3342  
E-mail: renkei@adm.miyakyo-u.ac.jp

## 公開講座ガイド

講座

# 仙台学2019

— 仙台の過去・現在・未来 —

1 January  
2019

February

The Academic Consortium of Sendai.

学都仙台コンソーシアム  
サテライトキャンパス

<http://www.gakuto-sendai.jp>

2019  
1/19土

会場

東北工業大学 一番町ロビー  
2階ホール

10:30 ~ 12:00 80名(先着) 無料 ①東北大学



## 仙台のスポーツボランティアと 東京オリパラ

講師 東北大学 多元物質科学研究所  
教授 村松 淳司

1998年ブランメル仙台ボランティア組織設置以来、仙台はスポーツボランティアの先進地域としてたくさんのボランティア活動がされている。2002年にはW杯がありイタリアキャンプもあって、前年の国体とともに仙台のスポボラ元年と言われた。そして、再来年には東京オリパラを迎える。大会ボランティアでも都市ボランティアでもない、第三のスポーツボランティアを自ら実践して、最高の2020年を迎えようではありませんか。そのために、いま、何をしたら良いのでしょうか。そんなことを一緒に考えましょう。

15:00 ~ 16:30 80名(先着) 無料 ①東北大学



## マルチ人間大槻文彦 —その仙台の文化への貢献—

講師 東北大学 文学研究科  
教授 後藤 育

大槻文彦は明治期に日本最初の近代的国語辞典『言海』を編纂した国語学者として知られています。しかし、大槻は英学修業からスタートしたのであり、その知的関心は、国語辞典と日本語文法の編纂を中心としながらも、歴史、地理地誌、国境意識、洋学史・日欧交渉史、父祖の業績、仙台(伊達藩)、出版印刷、かな文字論、言文一致、音楽など、多岐にわたっていたのであり、マルチ人間だったのです。本講座では、洋学を一つの手掛かりにしつつ、大槻による仙台の文化への貢献に迫ってみようと思います。

受講を希望される方は、各実施機関へ  
直接お申し込みください。  
(お申し込み先は裏面をご参照ください。)

2019  
1/26土

会場

仙台市民活動サポートセンター  
地階市民活動シアター

10:30 ~ 12:00 80名(先着) 無料 ②仙台白百合女子大学



## 戦中戦後の学校給食 仙台編

講師 仙台白百合女子大学 健康栄養学科  
准教授 氏家 幸子

仙台市は昭和初期から学童の身体測定を実施し健康教育に熱心に取り組んできており、戦前から戦中にかけて給食を実施してきた学校もあります。さらに戦後はユニセフのミルク給食のモデル校となった学校もあり、島野市長の健康都市宣言のもと、先進的な学校給食を実施していました。本講座では、資料並びに、当時の栄養士や調理師、児童として体験をした人々への聞き取りをもとに、その実際について明らかにし、現代の学校給食の土台に迫ります。

13:00 ~ 14:30 60名(先着) 無料 ③宮城大学



## 人口で見る仙台の 過去・現在・未来

講師 宮城大学 看護学群  
准教授 萩原 潤

ある地域の将来像を描くとき、その地域に何人の人がいるのかを予測することは、様々な設備がどれくらい必要かを考えるうえで重要です。そのためにはこれまでに人がどのように増えてきたのかを知る必要があります。人類が誕生してから今までに、人はどのように増えてきたのでしょうか。その道のりは決して増加ばかりではありませんでした。本講義ではこれまでの人類の増加について、全世界、日本、東北、仙台と様々なレベルで考えてみたいと思います。

15:00 ~ 16:30 60名(先着) 無料 ③宮城大学



## 江戸時代の仙台、平成の仙台

講師 宮城大学 基盤教育群  
准教授 三好 俊文

伊達政宗の城下町建設に起点がある仙台市街地。東北の中心都市として開発が進んだ現在の街に、江戸時代の街の痕跡はどの程度のこっているのでしょうか。地図を手掛かりに、現在の仙台にのこる江戸時代の痕跡を探ってみます。

2019  
2/9土

会場

仙台市民活動サポートセンター  
6階セミナーホール

10:30 ~ 12:00 80名(先着) 無料 ④東北文化学園大学



## 広瀬川再発見！ 古地図や地名の読み解きから 土地と人のかかわりを考える

講師 東北文化学園大学 科学技術学部  
教授 八十川 淳

遥か昔から、私たちの先人たちは足元の地形と環境の「水土」を見極めて、暮らしや地域社会を創造し、歴史を拓いてきました。市街は地形と環境の読み解きの結実であり、結果、平野部は長いあいだ、人が安心して住める環境ではありませんでした。現在の土木技術や都市整備も災害に万能ではありません。明治・大正期の古地図に記されている仙台東部、広瀬川・名取川の様子や地名の観察から、広瀬川下流の市街や暮らしを再考します。

13:00 ~ 14:30 80名(先着) 無料 ⑤東北学院大学



## 郊外住宅では、なぜ公園や大型商業 施設等が整備されているところと そうでないところがあるのか？ —仙台都市圏での居住地変化の歴史②—

講師 東北学院大学 経済学部  
教授 千葉 昭彦

都市の外延部には郊外住宅地が広がっているが、今回はこれらが仙台都市圏では北部に多く広がっている要因について考えた。今回はこれらの郊外住宅地の相違について考える。小中学校の整備、歩道・中央分離帯の整備、公園の整備、商業施設の整備、さらには大学、ホテル、スポーツ施設の整備などその「まちなみ」は多様である。このような多様性が生まれる理由を考える。

15:00 ~ 16:30 80名(先着) 無料 ①東北大学



## 繰り返す宮城県沖地震を 通して見る仙台の歴史と防災

講師 東北大学 災害科学国際研究所  
教授 佐藤 健

本講座は、東北地方太平洋沖地震を含め繰り返し発生する宮城県沖地震の影響を受けながら発展してきた仙台の歴史を振り返り、次の宮城県沖地震に向けた防災・減災を学ぶものです。ローカルな地域が本来持っている自然の環境や条件を鏡に映しだしたものが自然災害であるならば、むかし起こったこととして安易に片付けるのではなく、仙台のまちの発展の中で各時代に受けた実際の被害から教訓や知恵を改めて学び直すことが重要になります。